

【研究概要】（国際的な組織間での共同研究課題）

悪性腫瘍による骨破壊病変への治療を目的とした樹状細胞由来破骨細胞の解析

（医病・宮川和晃）

がんの骨への浸潤や転移は、がん細胞より刺激を受けた骨を溶かす細胞（破骨細胞）の形成や活性化によって病変が拡大する。この時に出現する破骨細胞は骨を作り出したり・維持したりするために必要な破骨細胞の活性化なのか、全く違う細胞が異常な破骨細胞の形成なのかについて全く分かっていない。本研究は、口腔がんの骨破壊モデルを使うことで、がん特有の異常な破骨細胞の存在を見つけ出し、それが出現するメカニズムを追究している。